

岡山県における農業青年の育成施策について

県普及園芸課担い手育成係

農業を振興し復権させるためには、それを担う若くたくましい人の確保と育成が最も大切である。このため県においては、担い手の育成と農政の最重点施策として位置づけ、市町村など関係機関の協力を得ながら強力な推進を図っているところがあります。

農業青年の現況

県における新規就農者は昭和三十年代前半をピークに年々減少の一途をたどったが、昭和四十九年頃から減少に歯止めがかかり、以後横ばい現象が続いている。この理由は石油ショック等に起因する企業の不振からUターン青年が大幅に増加したことが大きな理由である。

しかし、就農者数は依然として少なく年間一五〇名程度が就農しているに過ぎず、これは県の専業農家数約七、〇〇〇戸の後継者補充率の(三十年世代交替として)六四・三%を満たすに過ぎず、第一種兼業農家の補充等を含めると極めて少い人数である。

又、各市町村毎に農業青年で組織している新農業経営者クラブは、県下で七十二クラブ、一〇八〇名が加入し、活発なクラブ活動を続けている。

以下、農業青年育成に係る主たる事業について、その概要を説明します。

◎新規就農者確保に係る施策

あなたの家畜をハエ・蚊から守る

NZK

日本全薬工業株式会社

郡山市安積町笹川字平の上1-1

(有)美津和薬品商会

本社 〒708 津山市井ノ口25 卸売センター内
TEL (08682) 2-7014

新製品 **動物用**

ヤシマフタスロン

有効成分 〈製品100g中〉 フタルスリン(ネオピナミン).....2.0g
レスメトリン(クリスロン).....0.4g

適用害虫 ハエ・蚊・ゴキブリ(油虫)の駆除

特長

- 抵抗性害虫にもすばやいきぎめ。
 - 人畜に対して高い安全性。
 - 畜産物を汚さない——残留・蓄積の心配がない——
- 従来のピレスロイド系殺虫剤を更に改良しました。
——2種類のピレスロイドを配合した製剤です——
- 速効的なノックダウン作用に加え致死効果の点でも安定した殺虫剤です。
 - 残効性も期待できます。

(※参考)
レスメトリン(クリスロン)は従来の合成ピレスロイドと比べて、致死効果を更に高め、化学的にも安定で残留効果も期待できる新合成ピレスロイドです。ヤシマフタスロンは、この成分の配合により、さらに確かな効果が期待できるピレスロイド系 **動物用** 殺虫剤としました。

おすすめします!!今日からの殺虫剤

ピレスロイド系 **動物用** ヤシマフタスロン

〔ゼンヤクの固型塩グループ〕

〈一般用〉 〈グラステタニー様疾患予防用〉

グリーン飴塩 飴塩エム

〈肥育牛の尿結石症予防用〉

固型 カウストーン

ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

バイミルク



八月号目次

後継者育成特集	1
①岡山県における農業青年の育成施策について	1
普及園芸課 担い手育成係	1
②酪農後継者育成について	4
中四国酪農大学生校	4
③後継者の育成と農業大学校について	6
県立農業大学校	6
試験研究	7
酪農試験場	7
森 大二	7
和生試験場	8
片山秋坪	8
田中敏行	8
振興局便り	11
勝英地方振興局	11
家保のページ	14
高梁家畜保健衛生所	14
私の趣味	18
花木の培養をはじめ	18
普及園芸課 安東荘爾	18
枝肉格付状況市況	19

一、青年農業士認定制度

青年農業者が自身と誇りをもって、自己の経営発展とその確立に努めるとともに、若い青年農業者の良きリーダーとして新しい村づくりにも努力してもらうことを狙いとして昭和五十二年度から実施し現在までに二〇四名を認定し各地で活発な活動を願っているところであり、さらに、本年度と来年度の二年間で約一〇〇名を認定する予定であります。

二、青年農業者自主登録制度

農業を振興させるためには、次代を担う青年農業者が意欲をもち自主的な努力によって経営を確立するとともに、地域においてこれを支援していく事が大切である。このため就農の意志を固め、農業で自立しようとする青年が本人の申請に基づき市町村に登録する。登録を受けた市町村は農協、農業委員会、農業改良普及所等で構成する市町村青年農業者育成対策協議会を設置し関係機関が一体となって適切な育成措置を講じ、青年農業者の育成に資する。

現在までに登録制度に取り組んでいる市町村は七五市町村で一、〇二名の青年が登録している。

三、就農奨励金の支給

学校卒業後又はウターンをして就農した青年に対し（十五歳～三十五歳）県と市

町村が協同で就農奨励金を支給し、就農に対するお祝いと励しとし、自信と誇りをもって農業発展に努力してもらう目的で昭和五十五年度に発足させた事業であります。支給額は後継ぎ型青年八万円、経営分離独立型青年十万円、新規参入型青年十五万円となっております。

◎農業青年の結婚推進 援助に関する施策

一、青年農業者と都市在住女子 青年との交流事業

青年農業者の健全な自立と発展を促すためには、農業に理解をもった良き伴侶を仲介することが大切である。このため女子青年との接触の機会を少ない青年農業者に話し合いの場を与え、各種交流会の開催、行事への招待、日曜農作業農園の設置と運営等を通じて、農業及び農村の良さを正しく理解するとともに農業青年との触れ合いの場としております。

二、母親学級の開催

農業高校等の女生徒及びその母親を対象に優秀農家主婦の講演会、座談会、優秀農家の視察等を通じ農業や農家生活を正しく理解し農村の良さを再認識させ若い女子青年の農村定住を促進させる。

三、農業青年結婚推進事業

各地方振興局単位に設置している農業

青年結婚推進協議会により、農業青年に対する伴侶の仲介を推進している。

この事業は昭和四十九年度に発足し現在までに一、〇三〇組の仲介活動を行っており、結婚成立者に対しては希望により知事から記念色紙を贈呈し、お祝いしている。

◎農業青年の知識・技術を高めるための施策

一、国内及び国外への派遣研修

農業大学校等の学生並びに学校卒業直後の青年を国内の優秀農家に派遣し、生きた経営に触れさせるとともに経営者の人格にも接し、技術習得はもちろん「農の哲学」の体得に努力している。

さらに国際化された農業への対応力と国際感覚の向上等を目標に米国、欧州、ブラジル等へ二年から六ヶ月程度派遣し外国農業の体験と技術習得を図っている。

二、講座制研修事業

学習意欲の高い就農青年を対象に働きながら学べるこの事業は、基礎、専門、総合の各講座を開設し、青年の成長過程に応じた研修を体系的、継続的に実施し、近代的農業を担うにふさわしい資質の向上につとめている。

三、グループ活動の活発化

市町村単位に農業青年で組織するグル

ープ（以前の4Hクラブ）を結成し、プロジェクト学習を通じて知識向上につとめるとともに、仲間づくり活動、奉仕活動等を通して新しい村づくりの中核として活発な活動を行っている。

◎その他の主要な農業青年育成施策

一、地域農業後継者対策特別事業

農業を振興させるためには、小・中学生並びにその父兄に農業、農村の果たす役割と重要性等を正しく理解してもらおう必要がある。そこで当該事業では、農業副読本の作成や野外農業教室、農業体験実習等の場を設け、児童、生徒が農作業体験をおして働くことの尊さ、農業の大切さ等を学習してもらうため昭和五十二年度から発足させており、実施市町村では大きな成果をあげている。

二、経営基盤の確立に係る施策

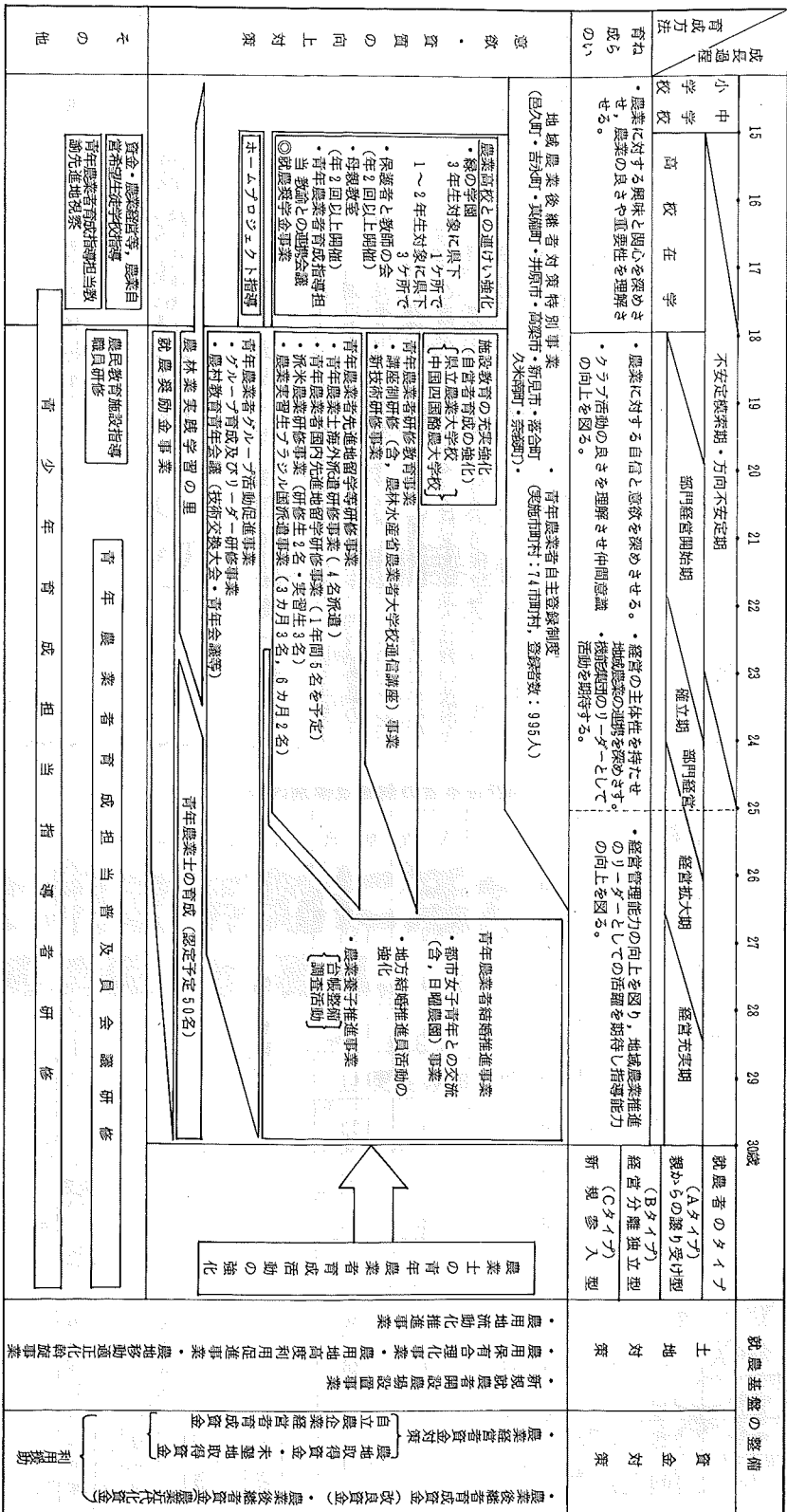
やる気のある農業青年に土地が集まり安定した経営ができるよう農用地流動化に係る諸事業の有効活用を図るとともに新規就農者開設農場設備事業を発足させ、経営基盤を持たない人への就農の途を開くなど積極的な土地対策並びに資金対策にも努めております。

三、農林漁業担い手育成財団の設立

多様化した農業青年の要望に対応し、

健全な農業者として自立していくためには、県、市町村、関係団体等が一体となり総合的な育成施策を推進することが必要であり、育成指導上からも極めて効果が高い。

青年農業者育成体系図



このような観点から、関係市町村、団体等の理解と協力を得ながら、財団法人岡山県農林漁業担い手育成財団を設立し強力な農業青年の育成指導を展開すべく設立準備を進めていくことである。

この他、吉備高原都市圏の一端として進めている「農林業実践学習の里建設事業」農業青年の養成施設としての「農業大学校の整備対策」青年農業者の指導と地域農業振興のためのリーダーとして

認定している「岡山県農業士認定事業」等があるが紙面の都合で説明は割愛する。なお、付表として、岡山県青年農業者育成体系図を添付しているので参照していただきたい。

特集 後継者育成 No. 2

酪農後継者育成について

財団法人 中国四国酪農高等学校

最近の畜産情勢は畜産物、特に牛乳の需供のアンバランスが生じ、所謂自主調整による計画生産・飼料及び肥料価格の上昇並びに資源エネルギーの制約等厳しい環境の中で自給飼料の増産及び良質牛乳の生産を基調に近代的企業能力を身につけるため酪農に関する広範な知識を習得させるとともに、大規模経営を行う附属牧場を実習の場とし更に校外先進酪農家等に於いて実践教育を行い、全寮制による自活、集団生活を通じ人格の練磨を教育の方針としている。

本校は全国的にもユニークな酪農後継者育成施設として昭和三十六年十二月に岡山県立酪農高等学校として設立され、その後昭和四十年十一月、財団法人中国四国酪農高等学校に改組(中国・四国各県並びに兵庫県をもつて構成)され今日におよんでいる。

その間の卒業生は五二八名で酪農に對

する根性と連帯感に溢れ、酪農を産業として立派に経営し、また地域酪農のリーダーシップをとらえているのでその影響が大きく、酪農後継者となるために酪農全般に亘る科学的知識と高度の技術を身につけて将来の希望を胸に秘めて多数の後継者が中国四国地方のみならず広く本校を後継者育成の福の地として集まっていることは誠に結構なことであり、関係者の方々に深く感謝する次第である。

昭和五十四年度に本校の卒業生(岡山県第一期から財団法人第一期まで)を対象に卒業後の就業状況を調査した。調査依頼数及び回答状況は依頼者数四九六名に対し回答者数二一五名(四三・三%)だったが回答のあった二一五名の酪農就業状況は別表のとおりであった。このように酪農就業率が七二・六%と高率であることは、本校設立の目的である優秀な酪農自営者の養成に叶うことである。

1. 酪農就業状況

区分	人数	割合
酪農就業者	156人	72.6%
非	59	27.4
計	215	100

2. 酪農従事者の専業・兼業の内訳

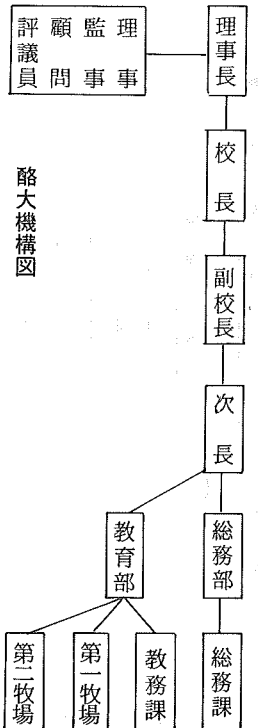
区分	人数	割合
酪農専業	121人	77.6%
兼業	35	22.4
計	156	100

3. 兼業酪農家の内訳

区分	人数	割合
酪農+農林業	7人	20.0%
酪農+酪農関係勤務	20	57.1
酪農+その他	8	22.9
計	35	100

4. 酪農従事者の飼養規模別内訳

頭数別	人数	割合
0~9頭	13人	8.3%
10~19	29	18.6
20~29	30	19.3
30~39	28	17.9
40~49	22	14.1
50~59	19	12.2
60~69	7	4.5
70~79	2	1.3
80~89	0	0
90~99	1	0.6
100~149	4	2.6
150~200	1	0.6
計	156	100



あり将来の酪農の発展に希望と期待がもたれる所以である。

本校の機構は図のようになっており更に校外講師として岡山大学、鳥取大学、岡山県等々を委嘱し専門知識は勿論のこと一般社会人としての知識の修得に努めているところである。

資格及び免許については、(一)卒業者に對し酪農経営士の称号を与える、(二)家畜人工授精師免許(牛)取得のための技術の修得と受験の資格が与えられる、(三)大型特殊自動車(トラクター)運転免許取得のための技術の修得と受験の機会が与えられることとなり、優秀な酪農自営者となるため、そして卒業後直ちに役立つので学生はそれぞれの学科、実習について一生懸命頑張っている。

本校設立の目的及び教育方針を尊重し職員一同も酪農後継者育成のため微力を傾注する覚悟でありますので、関係各位の平素の御協力に對し謝意を表すとともに今後とも一層の御指導御鞭撻をお願いして筆を擱く。(教育部長 植木富士男)

“あなたの畜産経営に奉仕します”

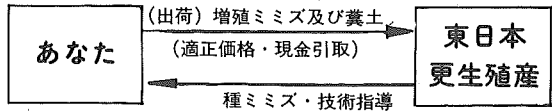
新発売飼料フレークフィード(乳牛, 肉牛用)
配合飼料, コーンジャム(とうもろこし胚芽油粕), 脱脂大豆, 菜種粕

加藤製油株式会社

大阪・岡山・名古屋・高松・下関

事業所	本社工場	岡山工場	名古屋工場	高松工場	下関営業所
	大阪市此花区梅町2丁目1番16号	玉野市築港5963	名古屋市港区港陽1丁目1番82号	高松市郷東町宇乾新開792-10	下関市中之町10-3
	〒554 電話 大阪(06)462-0101	〒706 電話 玉野(0863)31-2222	〒455 電話 名古屋(052)651-7411	〒760 電話 高松(0878)82-1888	〒751 電話 下関(0832)22-8141

土地を有効に活かす。ミミズ養殖! 専属養殖者“募集” 貴方のご期待にお応えできる産業です。



先ず1万匹からはじめてみませんか
改良新種 1万匹 80万円

- ◎4ヶ月で約6~10倍。1万匹が1年間で200倍以上に
- ◎土地は300㎡~500㎡でOK!!

◎減反問題でお悩みの方、土地を有休させてる方
出稼ぎ問題・過疎対策、高齢者対策として、
産業廃棄物処理・牛豚・馬鶏等家畜糞処理で
お困りの方、新しい事業としてお考えの方、
これらの問題を解決するミミズ養殖にチャレンジ
してみませんか。

◎当社は技術指導及び買取り保証の約束手書を差上げております。

●当社のバイオニア技術で、ミミズの食品開発に成功/
各分野から大きな注目を集め、近々、一斉発売の予定。
●当社の開発製品群 ●パーミーパウダー:ミミズの粉末。●パーミーフレーク:
ミミズの粉末をフレーク状にしたもの。●パーミーベレット:ミミズの粉末を小さな
固型にしたもの。●パーミーミンチ:ミミズをミンチ状にしたもの。●パーミーチップ:
ミンチ状にしたものをチップにつめたもの。●パーミーモス:ミミズの糞土。●パー
ミーカップ:生きたミミズをカップにつめたもの。



資料ご請求の方は切手500円分同封の上、下記へお申し込み下さい。

東日本更生殖産(株)

四国支店 〒763 香川県丸亀市大手町(大手町ビル7F) ☎08772(4)1221(代)

農業の後継者対策が問題とされて既に久しいですが、米の生産調整に端を発する農業生産の再編成、地域農業の組織化等、大がかりな農業見直しの中で、最大の隘路が人の問題に集約されるようになり、これからの農業を担い得る先導的中核農業者は、ほんの一握りの存在に過ぎなくなつてしまつております。これら農業者の一生は、就農の意志決定、新規就農、経営の確立、結婚、地域のリーダー、若い担い手の育成という一連の厳しい道を歩まねばなりません。行政における後継者対策とは、このような担い手のあつたきを対象としているのであつて、単なる農家のあつたき対策に終つてはならないのであります。

島国であり先進工業国であつたイギリスの農業は我が国農業にとつて前駆的ともいえる存在であり、第一次・第二次農業革命、農業の黄金時代、農業保護の時代という変遷をたどつております。明治の地租改正、戦後の農地改革を第一次・第二次の農業革命、それ以後米の生産調整に至るまでを黄金時代として我が国農業を考へてみると、これからは過保護にあらざる保護の時代が到来すると思われまふ。ちなみに一九四七年のイギリスの農業法は地山の石とも考えられるものであります。

我が国においても農地の流動化、担い手農業の経営安定、所得補償等一連の施策が地域農業を担う真の農業者を対象になされるべきではないでしょうか。二兼農家は既に都市勤労者を上廻る所得水準にあるのに比べて、専業農家の所得が必ずしも高くない現実を考えれば、これら施策の整備は何よりも優れた後継者対策であるといえます。

農耕文化は一万年の歴史を持つておりますが、工業文化はわずか数百年にして

特集——後継者育成 No. 3

後継者の育成と 農業大学校について

県立農業大学校 田村 秀 穂

資源問題、公害問題、青少年問題等のひずみを生じており、農耕文化と工業文化の調和、工業思考から農業思考へといつた多くの提言が農業外からなされ、農業の良さを生活の中に活かそうとする考えが芽ばえつつあります。また、農業内においても、規模拡大の限界、単一経営の弊害等から、地域内の循環、補充結合、自給を重視する地域農業の複合化、再編整備が望まれており、私共は後継者対策の困難な現状を徒らに右顧左眈し供手

することなく、一大勇猛心をもって対処しなければならぬ段階にあると考えるべきであります。諸般の担い手対策の中で本校は弾丸黒子の存在に過ぎないので、農に生きる若人の気概に満ちた教育の場とすべく関係者一同努力しております。

本校設置の目的は、将来の農業を担う中核的人材の育成にあります。そのためあくまでも自営者養成に徹した実践教育

課程 専 攻
 農産園芸 果樹農産・野菜農産・花き農産
 産 開発農業
 農産畜産 畜産農産・開発農業
 学習内容は農業後継者育成としての自営教育であるという目標を明確にし、実践を通して問題を解決する態度と能力の開発を図ることとし、基礎学習・専攻別の経営実践学習、先進農家における留学研修、総括学習をもつて構成されております。

特に創造性、自主性を養い基礎教科目の総合化を期して、二年生ではプロジェクト活動中心の学習を進めるほか、勤労の中から農業の本質を体得するため「農業実践学習の里」における研修も考えられております。また、新たに設置された開発農業専攻は「農業実践学習の里」「新規就農者開設農場」と関連して新天地の開拓を志すもので、ユニークな存在であります。

学校生活では全寮制を採つて、仲間づくり、人間形成に役立たせており、自治運営の枠を可能な限り拡大して解放的に楽しい寮生活を指導しております。

「農業は土づくりに始まり人づくりに終る」といわれておりますが、若い農業者の密度が他県に比べて低いという本県の実態をふまえ、少数精鋭の若人が高い理想を持つて本校を志望されんことを願つて稿を終ります。

酪試のハイジ

転換畑利用による サイレージ生産と流通化

酪農試験場 森 大 二

はじめに
 近年、酪農経営規模の急速な拡大に伴つて、土地基盤の狭小な地域、特に本県のような水田を主体とする酪農地帯においては、自給粗飼料の不足が深刻な問題である。

そこで従来から粗飼料確保の手段として水田の裏小作や、稲わら、ヘイキューブ、粕類及び流通乾草等に依存しているが、なお完全に需要を満していかないのが現状で、良質な粗飼料の安定確保が緊急な問題となつてゐる。

一方、米の生産調整から転換畑の高度利用の方法についての要請が強まれば、これら両者を結合させて地域農業の複合化経営を定着させるため、転換畑に良質粗飼料を生産し、恒久的に安定して酪農家に供給しうる流通体系の技術確立が必要である。

転換畑で生産した粗飼料を流通する場合、現在の流通粗飼料の主体である乾草を生産することは、高温、多雨多湿の暖地において、気象的にも、施設面からも問題が多いことからサイレージにより粗飼料を流通することが有利と考えられる。

サイレージの流通については、過去の多くの研究成果、並びに実用化技術が発表されているが、実際には定着した技術に至っていないのが実情である。そこで従来からの技術的問題並びに概念をかえて飼料作物の栽培、サイレージ調製部門と乳牛飼養部門を分離化し、サイレージの請負生産を前提としたサイレージの生産と流通化を考え、現場貯蔵用及び輸送用の簡易なサイロを開発し一連の実験を試み、成果を得たので報告し、利用普及の一助として活用を期待している。

表1. PVCバックサイロの規格

区分	容量 (m ³)	サイロの寸法 (m)	重量 (kg)
移動型	1.0	1.1φ × 1.12	10
	2.0	1.2φ × 1.77	17
設置型	3.0	1.0 × 2.0 × 1.0	21
	5.0	1.5 × 2.5 × 1.5	35
	10.0	2.0 × 3.5 × 1.5	44
	15.0	2.5 × 4.0 × 1.5	49
	20.0	3.0 × 4.5 × 1.5	54
	25.0	3.5 × 5.0 × 1.5	61
	30.0	3.5 × 6.0 × 1.5	70
	40.0	4.0 × 7.0 × 1.5	84
	50.0	4.0 × 8.5 × 1.5	88
	60.0	4.0 × 10.0 × 1.5	95

一、サイロの材質と構造
 新しく開発したサイロは、バック式の設置型と移動型で、いずれも材質はテトロン布をターポリン加工したPVCの布製で、防湿、防虫加工を施したものである。移動型は一・〇×二・〇×m、設置型は表一に示すように三・〇×六・〇×mで利用に応じて選択できる容積で、上面中心部をファスナーで全開でき、下方底部四方に排出口を設け、二本の密着バンド付きの構造で重量は一〇m³のもので大人二人で持運びが可能な程度である。

(表一、写真一、二) 一方移動型は、サイレージの流通用及び極小規模の調製用サイロである。その構造は、円筒型で上

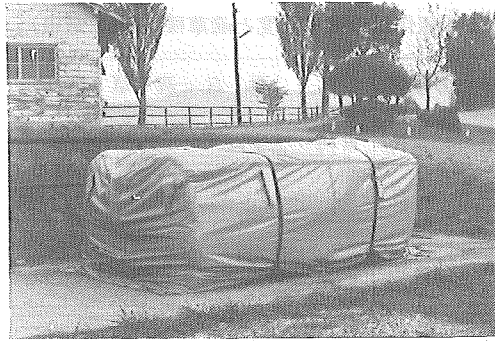


写真1-設置型サイロ (10 m³)

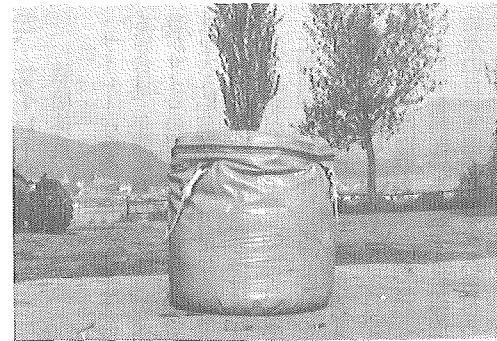


写真2-移動型サイロ (1 m³)



写真3 梱包材料を設置型サイロへ詰め込み

るような配慮が絶対必要である。当面考えられる飼料作物の栽培は表七に示すような体系が考えられるが、収量性のみで作付体系を決定することは、栽培、サイレージ調製作業においてかなりの負担を生じることとなるので、現在保有している機械類の種類、能力、道路事情を十分勘案して決定する必要がある。(表七)

四、サイロの実用化

酪農経営においては、サイレージの通年給与志向が定着しつつある現在、良質なサイレージが安定して確保できることは、経営安定はもとより、乳牛の生理上からも最も必要なことであるが、理想的な固定サイロは多額な建設費を必要とする。また移動型サイロを流通容器として利用する場合は、フロントローダー等で吊り上げ運搬車への積み込みも容易なことから広く活用することが可能である。今後の普及体系を画示すると、つぎの方法が考えられるが、共同作業によれば一層効率的である。

おわりに

今後一層拡大が予想される転換畑をより有効に活用して、良質な粗飼料を安定的に確保するとともに、転換作物の定着化を図る必要から、県単独事業として、「飼料銀行設置運営事業」が本年度も十カ所推進されている。また今年度から自

表7. 作付体系の試案(県中～南部) (トン/10a)

作付体系	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	生草重	乾物重	TDN
①イタリアン周年栽培 (ナスヒカリ, マンモスA, エース)					x	x	x					x	x	13	1.9	1.4
②イタリアン-青刈ソルガム (ワセアオバ, ワセユタカ, スーダン系)														18	2.6	1.7
③イタリアン-シコクビエ (ワセアオバ, ワセユタカ, 雪印系)														18	2.2	1.5
④イタリアン-とうもろこし (全上, ヤマアオバ, 早生種)														15	2.5	1.8
⑤イタリアン-白ビエ-とうもろこし (ワセアオバ, ワセユタカ, 白ビエ, 早生種)														19	3.0	2.1
⑥青刈麦-とうもろこし (早生種)														15	2.8	2.0
⑦ホルクropp麦-とうもろこしイタリアン (早生種)														11	2.6	1.8
⑧イタリアン-とうもろこし-麦 (ミナミワセ, 早生種)														21	3.8	2.8
⑨イタリアン-とうもろこし-麦イタリアン (ワセユタカ, ワセアオバ, 早生種)														21	3.5	(+α)
⑩イタリアン-シコクビエ-麦イタリアン (ワセアオバ, ワセユタカ, 雪印系)														20	2.6	(+α)

(+α=年内刈, 麦, イタリアンを示す)

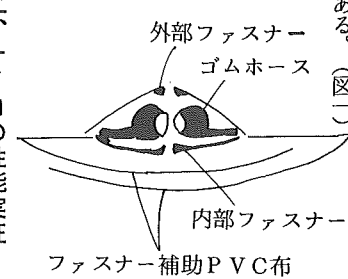


図1 密封部分の概要

部全開で、懸垂用合繊ロープを二ヶ所に取り付けたもので、重量は表一に示すように軽量のものである。密封の方法は、ノーフェラータイロンゴムホースを中心とした二重のポリエステルコイルファスナーによるもので、内外のファスナーの締めつけにより完全に密封できる構造である。(図一)

二、サイロの性能実証

開発したサイロについては、全国四十三ヶ所の国立試験場等で実用性を確認する実験が二カ年に亘り行われ、その成果から安全、かつ実用性が認められている。しかし今後とも諸々の材料及び、異なる条件下における安定した発酵品質のサイレージを得るためのデータの集積は必要である。現在までの現場で試行した成果は表二、表五に示すように、いずれも設置型で良質のサイレージが得られ、また移動型に再貯蔵して輸送したのちも発酵品質の劣化はほとんど認められず実用性が確認されている。(表二、五)

表2 バックサイロによる発酵品質 (%)

区分	貯日	蔵数	水分	PH	有機酸組成			Flieg 評価	
					乳酸	酢酸	酪酸	評点	評価
設置型サイロ開封時	90日		43.7	5.3	4.97	0.42	0	100	優
移動型 "	22		43.9	5.0	2.82	1.00	0	92	優

サイレージ材料: オーチャードグラス主体混播牧草

表3 バックサイロによる再貯蔵期間と発酵品質 (%)

区分	貯日	蔵数	水分	PH	有機酸組成			Flieg 評価		VBN T-N
					乳酸	酢酸	酪酸	評点	評価	
設置型サイロ開封時	84日		39.3	5.5	5.69	0.60	0	100	優	10.0
移動型サイロ開封時	10		40.6	3.7	6.27	1.00	0.03	100	優	10.0
" "	20		42.6	3.6	6.67	1.34	0.07	99	優	10.0
" "	30		36.0	4.1	5.86	1.18	0	99	優	7.0

サイレージ材料: オーチャードグラス主体混播牧草

表4 バックサイロによる再貯蔵期間と飼料成分の変化 (DM%)

区分	貯日	蔵数	水分 a)	飼料成分					
				粗蛋白質	粗脂肪	NFE	粗繊維	粗灰分	WSC
設置型サイロ開封時	84日		39.3	7.4	2.5	51.1	3.08	8.2	14.1
移動型サイロ開封時	10		40.6	11.5	2.7	43.1	3.25	10.2	10.6
" "	20		42.6	9.4	2.6	49.3	3.01	8.6	12.6
" "	30		36.0	9.6	2.6	50.3	2.91	8.4	12.2

a) 現物中

表5 バックサイロによる再貯蔵期間と発酵品質 (%)

区分	PH	有機酸組成			Flieg 評価		VBN T-N
		乳酸	酢酸	酪酸	評点	評価	
気密サイロ取出時	5.1	4.80	0.81	0	100	優	8.02
移動型サイロ1週間目	4.9	5.20	0.77	0	100	優	8.17
" 2週間目	5.0	5.06	0.82	0	100	優	7.12
" 3週間目	4.9	5.32	0.66	0	100	優	5.79

サイレージ材料: イタリアンライグラス

表6 転作畑の排水程度と適草種(昭51.飯田)

排水の程度	主要な適草種
不良	青刈りイネ, キシュウズメノヒエ
やや不良	ヒエ, ケイヌビエ, じゅずだま, ハトムギ
普通	シコクビエ, 青刈りソルゴー, ローズグラス, 混播牧草, イタリアンライグラス
良好	サイレージ用トウモロコシ, 青刈りムギ

サイレージを商品として生産・流通する場合、年間におけるサイロの使用回数が多いほど、サイロの経済性並びに転換畑の生産性を大きく左右することになるので、転換畑に飼料作物を栽培する作付け体系は十分な配慮が必要である。表六に示すように飼料作物は一般に湿害を受けやすい性質があり、特にサイレージに最も良い材料とされているトウモロコシは、特に湿害に弱い作物である。(表六)

そこで飼料作物を栽培する転換畑は、排水の良い水田を活用する必要があり、また速かに雨水等の地表水の排除ができ

給飼料生産総合振興事業として、「転換飼料作物流通パイロット事業」が10ha以上の単位で広域的に実施されており、生産性の高い水田を単純に休耕、転作するのではなく、水稲生産による所得以上の収入をあげるべく工夫と努力を重ね、

その過程の中に発生する問題を抽出し、より高度な技術を確立しなければならぬ。今後新しい分野であるサイレージの流通化についてなお一層検討し、発展させなければならない。

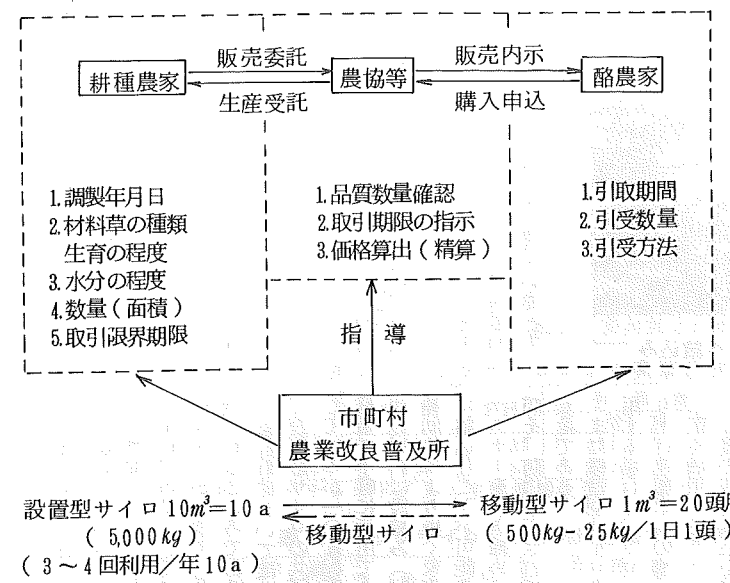


図2. 転換畑利用によるサイレージの流通体系(案)

豚肉の肉質と味

酪農試験場 片山 秋坪

肉質に影響を及ぼす要素としては、豚の品種、系統、性別など遺伝的要因を含む個体差、及び飼料、飼養形態によって、またと殺前後の生体及び体の取扱など、環境的要因があげられる。しかし、つまるところは食べて美味いものということであり、美味しいということは人間の五感のうち四つまでの感覚、すなわち見る、嗅ぐ、味わう、触る(歯ごたえ、舌ざわり)で感ずる総合判断ということになるが、これには個人差があり、調理方法などの要素も加わり、

養豚の雑種化が進むなかで、最近うまい豚肉への要望が強まり、八〇年代は肉質の改善がさらに大きな課題として取上げられようとしている。では、肉質とは何を指しているのだろうか。日本食肉格付協会の枝肉取引規格によれば、豚枝肉の外観として、均称肉付き、脂肪付着をみるほか、肉質では仕上げ、肉のきめとしまり、色沢・脂肪の色沢と質・脂肪の沈着の項目について、主に肉眼的な判定により格付を行うことになっている。

感応調査によっても、結果が明快に一致するのは難しいようである。このように、肉の質、味には理化学的性質すべてが関連してくるので、最大公約的な判断によらざるを得ないが、近年は実験器具の発達と研究の進展によって、これら感应的なもの多きは、比較的容易に数値として計測することが可能となり、美味の裏付けが理論的にかなり明らかにされてきている。現在、豚肉需要の用途の面からみると生食用が大部分であり、ハム、ソーセー

ジ等食肉加工向けは一五%程度であるが加工品の高級化とともに豚肉使用割合が年々高まり、将来食生活の向上とともに加工向けのウェイトが更に高まること予想される。しかし、生食用として要望される豚肉の品質と加工向けのそれとは、枝肉の大きさ、脂肪の質などに微妙な差異もあるようであり、これらは今後の検討課題と思われる。

振興局便り

畜産の発展と私見

勝英地方振興局 松田 忠博

一九六六年(昭和三十七年)の岡山農林水産統計年報によると、我が勝英地方振興局管内(勝田郡、英田郡)における家畜頭数は、次のとおりである。

肉用牛八、七〇〇戸、一二、七〇〇頭
乳用牛一、〇五〇戸、二、八九〇頭。豚四二〇戸、二、七〇〇頭。鶏九、五〇〇戸、三二五、〇〇〇羽。

当時としては、動力耕うん機、乗用トラクター等農業用機械の普及段階であり、肉用牛も未だ役肉用牛として記載されている。

各農家では、農耕用とし、又「家の宝」として、一〜二頭の役肉用牛が飼育され、更に他の家畜についても、いわゆる複合経営であり、自己完結型の農業経営であったと思われる。

当然のことながら、畜産経営に基因する環境汚染の発生も極めて少なく、そこには、和牛による耕うん風景が随所で見

受けられ、畦畔草は粗飼料として刈りとり、更に農家の庭先では無数の赤トンボの群れがとびかう、平和でのどかなしかも地域と調和した畜産があったことは

飼養戸数及び飼育頭数の推移 (畜産基本調査 各年2月1日)

年次	飼養戸数	飼養頭数	1戸当り飼養頭数
乳用牛			
1966	690	4,790	6.9
1975	405	5,990	14.8
1979	353	7,389	20.9
1979/1966	51.6	154.3	302.9
肉用牛			
1966	5,310	10,590	2.0
1975	1,702	6,040	3.6
1979	1,100	5,500	5.0
1979/1966	20.7	51.9	250
豚			
1966	230	6,780	29.5
1975	116	11,400	98.3
1979	109	13,500	123.9
1979/1966	41.3	169.8	420.0
採卵鶏			
1966	4,270	32,000	75.4
1975	1,412	39,500	277.3
1979	585	48,400	827.4
1979/1966	13.7	150.3	1,097.3
ブロイラー			
1966	78	167	2.1
1975	61	346	5.8
1979	54	518	9.6
1979/1966	69.2	310.2	457.1

さて、一九七九年における当局管内の家畜飼養頭数対一九六六年と比較した数値を示すと表にかかげるとおりである。

この結果、農業総生産額のうち畜産の占めるウェイトは約四三% (一九七八年)と極めて高い状況にある。

我が管内に限らず、これほどまでに我が国の畜産が多頭化した原因は何か。

全国的な畜産の傾向と合致し、肉用牛経営を除き飛躍的に発展し、多頭化・大型化の進行が著しく、中には、企業化されたものまで認められる。

想像にかたかない。

もともと、畜産農家の規模拡大に対するため努力の結果ともいえようが、我が国経済の高度成長に歩調を合わせ、農業の近代化と合理化を図り、農業従事者が他の国民各層と均衡する、健康で文化的な生活が出来るよう一九六〇年に制定された農業基本法が大きく効果を表わしているのではなからうか。

同法制定後の各種振興施策は、まさに規模拡大一色にぬりつぶされた施策であったように思われてならない。

そこには、環境汚染防止と安全食品供給という畜産経営や、畜産食品の基本というべき事柄は軽んじられ利益優先だったのではあるまいか。

もちろん、畜産物の需要に対応し土地

省エネ時代



若さまにおまかせするとして、私は次の提案をしたい。
石油資源の枯渇に対応し役肉用の和牛及び馬の二頭増頭運動の推進を図ることである。
この大型化された農業の中にあつて、「今更ら何をとげた」という反対意見があるであろう。
しかしながら、和牛は未だ一・二頭飼養が大部分を占め、馬に至っては、地域によって極めて少ない頭数で維持されて

いるのである。
牛・馬肉の増産に併せて、これら和牛や馬による省エネ（耕うん）は夢物語りであろうか。
私は、望みたい。
管内畜産はもろろん我が国の畜産が大規模のものも、小規模のものもすべて地域と調和した環境汚染のない畜産であるように、そして、国民に対し安全な畜産食品が十分供給されるように、更に今後畜産が益々発展するように。

基礎等条件整備のなされた畜産経営の大型化や、多頭化を否定するものではない。しかしながら、これら規模拡大に伴うスケールメリット競争のおおききを受け、存在すべき小規模農家の脱落が進行したことも、また、事実である。
專業化、多頭化を合い言葉に増産一本やりで進んで来た我が国畜産も近年に至りその生産構造にややかけりが見えはじめた。
すなわち、畜産経営に起因する環境汚染の発生を始めとし、生産が必要を上廻る、いわゆる畜産物の過剰現象等さまざま問題が表われ、肉用牛を除き、遂に生乳・豚肉・鶏卵等については生産調整をよきなくされている事実である。
当局管内では、このような全国的畜産物の過剰傾向に対応するため、鶏卵は鶏卵供給調整協議会をおしての生産調整を行うとともに生乳については、生産者団体の行う需給調整対策に対し側面的な援助指導を行っている。
ちなみに昨年度の低能力牛の淘汰頭数は三九六頭に達している。
また、環境汚染の発生防止対策についても関係機関の協力のもとにねばり強く指導をくり返し実施しており、五十一年をピークとして減少の傾向を示しているが、今後、更に指導を強化し環境汚染の発生防止を図りたい。

「家畜飼育形態の多頭化・集団化及び家畜疾病の多様化に対応して、家畜伝染病予防、家畜衛生技術及び動物用医薬品の安全性確保等の各分野にわたりの確かつ効率的な家畜衛生対策を推進する。」
中 略
また、動物用医薬品の安全性及び使用の適正化を図るため、五十五年度中に施行されることとなる「薬事法の一部を改正する法律」の適正かつ円滑な実施を図るとともに……医薬品の適正な使用を基本とした指導を行う。
「農薬の品質適正化とその安全かつ適正な使用の確保を図るため『農薬取締法』の適正な運用を図るとともに生鮮農産物を中心にその生産と安全性を確保するため、農薬安全使用基準等の遵守徹底、農薬の残留調査を行う。」
以上は、本年四月二十日付で発行された「昭和五十四年度農業白書」のうち「昭和五十五年度において講じようとする農業施策」の家畜衛生対策及び農薬対策の抜粋である。
私は、十平方メートルほどの畑を借地し化学肥料や農薬を使用せず、主に鶏ふんを施用し、キャベツを作っている。
先日、友人と一杯やりながら、「私のキャベツは、虫がついて困る。葉の下には、ナメクジが住んでいる。」といったところ、友人曰く「それは、めずらしい。最高級のキャベツだ。」との発言であった。

正直なところ私はおどろいた。なぜ、高級品なのか。それは、無農薬野菜のためだそうである。
たしかに、店頭では見はえが良く、虫などいないものはかりである。
ただし、安全性はどうなのか。
前記白書は、国が本年度において、畜産物や農産物の安全性を重視し、その推進を図る意気込みが十分うかがえるが、かけ声のみに終らず、消費者が安心して食べることのできる畜産物の生産を第一条件として進めてもらいたいものである。
そのことが、長期的に見て、畜産物の消費の拡大となり、ひいては、畜産の振興に連なるのであるから……。
また、白書では、省エネルギー、消費源の推進、代替エネルギーの開発についても、総論的にその施策を記述しているが、しからは畜産については、如何なる方向で進めるのか、その具体的方法についての説明がなく失望をかくし得ない感じがする。
地球上からいつの日か、石油資源は枯渇する、動力耕うん機も乗用トラクターも更には、乗用自動車も代替エネルギーが開発されない限り動かなくなるのである。
偉らそうなることを言っても、この分際では何ができよう。
代替エネルギーの開発等は、著名な学

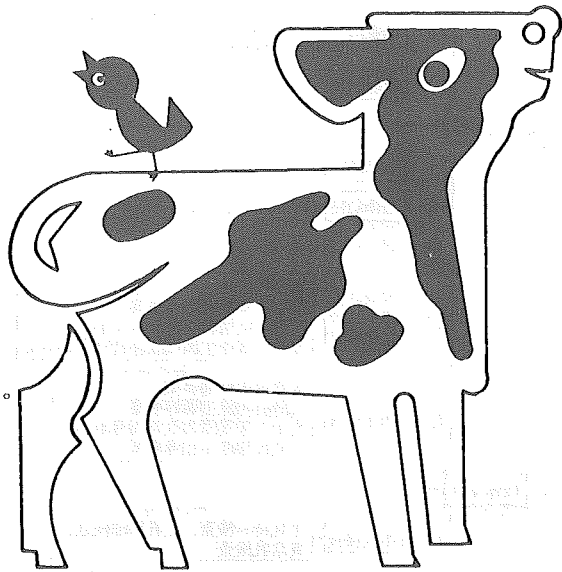
乳は国産 エサは全酪

団結は力！
系統利用は団結の象徴

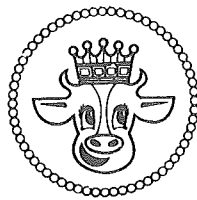
最高の水準をゆく全酪連乳用子牛育成体系
(乳牛の飼料は専門の全酪連におまかせ下さい)

主要取扱品目

専管、増産ふすま。外国大麦飼料。
カーフトップ。脱粉飼料。カーフスターター。
幼牛用、搾乳用配合飼料。
その他酪農用飼料資材全般。
市乳、バター、チーズ、練乳、粉乳。



日夜酪農民の利益増進に奉仕する酪農専門農協！
全国酪農業協同組合連合会



牛の健康、
緑の牧草は
タンカル で良い草を！

効めの早い タンカル肥料
持続性のある 土改1号、2号



足立石灰工業株式会社

岡山県新見市足立 TEL (08679) 5-7111

管内衛生事情について

高粱家畜保健衛生所

管内の概況

当所は県の北西部に位置し、高粱市、上房郡、川上郡及び新見市、阿哲郡を管轄し、新見市には阿新家畜衛生センターを設置している。

管内の総面積は県全体の二二%にあたる一五四、〇四六haであるが、そのうち耕地面積は県全体の約一三%にあたる二、九〇一haにすぎず立地条件には恵まれていない。また、総世帯数及び総人口は、三〇、七三三戸、一〇九、三二二人で県全体の六%を占め過疎化が進んでいる。

農業粗生産額は県全体の約一二%にあたる二四、六四一百万円となっているが、このうち畜産物の占める割合は約三四%の八、三八〇百万円となっている。

なお、畜産物粗生産額のうち乳用牛は三二・六%、二、七三三百万円、肉用牛は二四・五%、二、〇四三百万円、豚は一三・三%、一、〇五五百万円、鶏につ

いては二九・六%、二、四六九百万円となっている。

家畜保健衛生所業務推進の基本方針

家畜飼養規模の拡大、集団的飼養形態の増加、家畜畜産物の流通圏の拡大、安全畜産食品の生産等々家畜保健衛生所の業務は多様化し、また、家畜の保健衛生特に防疫業務は益々重要性を増大しているため、これらに対応し更に地域に即したきめ細かい対応が強く要請されている。特に本年度においては当所独自の業務を企画推進し、地域畜産農家の要請に応え農家と密着した信頼される地域における県の出先機関として機能を発揮したい所存である。

本年度における重点実施事業

(一) 家畜防疫体制の強化
家畜及び畜産物流通の広域化、経営の

大型化等によって各種伝染性疾患の発生が心配されるので、これらを未然に防止するため各種検査、予防注射を定期的に行うとともに複雑多様化する各種疾病に対しては迅速に病性鑑定を行的確な治療法等の指示と指導を行う。

(二) 乳質改善事業の推進

酪農家の自主的乳質改善意欲の向上を図るため関係機関と連携強化を保ちながら生乳の細菌数検査、脂肪分及び無脂固形分等の検査を実施し、その検査成績について当所独自で定めた優良農家判定基準によって優良乳生産者としての表示板を交付するとともに規格外生乳生産農家に対しては戸別、家畜個体別に精密検査調査を行い、その原因究明につとめ適切な巡回指導を実施し地域全体の生乳の品質向上につとめる。

(三) 空胎防除特別濃密指導事業

乳用牛及び肉用牛の空胎による生産性低下を未然に防止するため関係機関と連携を密接に行い繁殖障害牛の防除に努め畜産経営の安定を目的として事業を推進していく方針である。

(四) 繁殖障害実態調査

事業実施にあたり原則として一日一町村単位で濃密指導地域を選定し重点的に事業を実施する。

(五) 空胎防除推進班の編成

事業を効率的に推進するため関係機関の協力のもとに業務推進班を編成する。

(六) 事業内容

推進班は定期的に繁殖障害対象農家を巡回し、衛生指導と適切な治療等を行う。

(七) 事業の普及啓蒙

事業を実施していない地域への普及啓蒙をするとともに、畜産農家の繁殖障害に対する知識の向上を図る。

(八) 公共牧場衛生対策指導

公共牧場において飼養されている家畜の定期的衛生検査及び指導を行い生産性阻害要因を究明し、その除去のための衛生プログラムを確立し生産率の向上と損耗防止に努める。

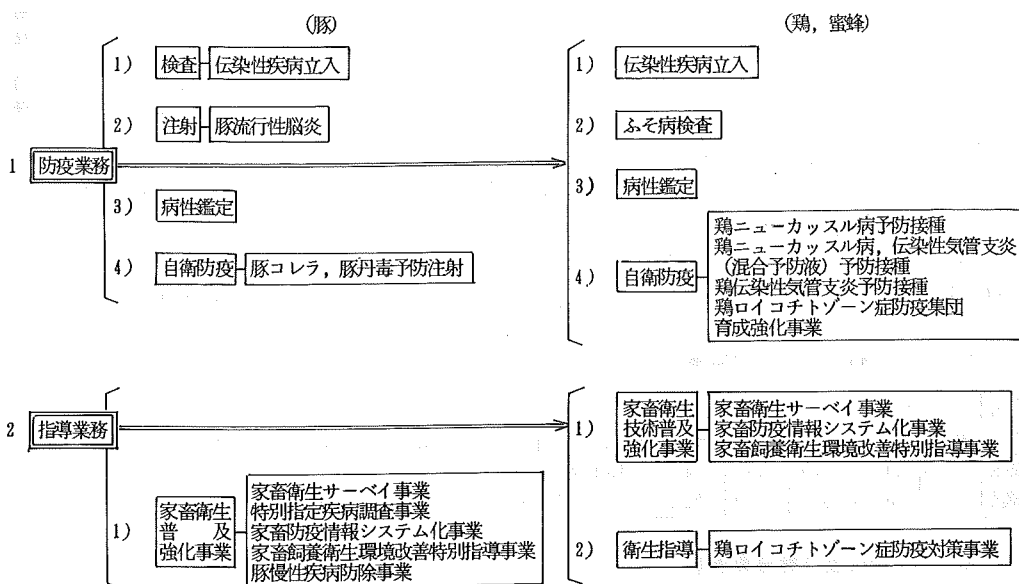
(九) 乳用牛の栄養障害改善指導事業

ブルセラ病検査に併せて、肝機能検査、血清理化学的検査を行い、栄養障害牛については原因究明と適切な飼養管理、改善指導を実施し経営の安定を図る。

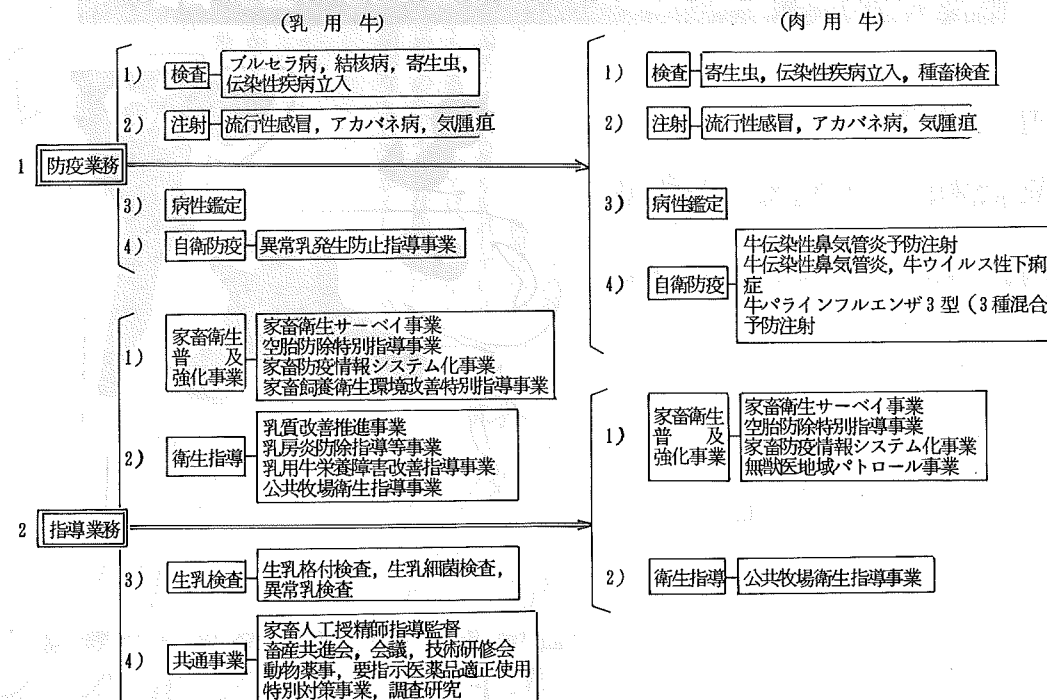
(十) 豚慢性疾病防除事業

最近における養豚経営は生産性の向上を図るため省力専門化の養豚経営農家を中心に地域内での一貫経営が行われているが、これら養豚団地における慢性疾病のまん延は経営上の大きなネックとなっており、このため疾病の実態を把握し、これら慢性疾病に対する衛生プログラムによる予防接種、投薬、畜舎、豚体消毒ならびに環境、飼養管理等の改善及び防除対策をたて清浄化を図る。

業務推進体系



業務推進体系



理想肥育(去勢牛)を前提とした 肥育素牛の長期放牧育成

和牛試験場 田中敏行

中国山地における今後の農林生産の誘導方向のうち、肉用牛については山林原野の高度利用が指向されています。岡山県和牛試験場では従来、山間傾斜地を利用する目的で刈払入れ方式により簡易に草地を造成し、若令肥育を実施してきましたが、舎飼いに比較して肉の色沢・きめ・しまりあるいは脂肪交雑の状態等肉質に問題がありました。一方、肉牛の出荷体重は大型化し、それに伴い飼育期間も長期になっています。

そこで、去勢牛の理想肥育を前提としての素牛を野草地でできるだけ長期放牧育成し、その後の仕上げにおよぼす影響について検討するため、黒毛和種去勢牛を用い、肥育前期にのみ場内の野草地に放牧する放牧区と全期間舎飼いにする舎飼区を設け、約二カ月間の肥育を試みましたので、その成績の概要を報告します。

試験方法

一、供試牛

供試牛は生後七〜八カ月令で、体重、体高その他の発育が正常で、体型、資質栄養状態とも中程度以上の黒毛和種去勢牛八頭です。

二、試験区の構成

前期に場内の野草地に放牧し、中・後期には舎飼にする放牧区と前・中・後期とも舎飼にする舎飼区の二区を設けました。そして、放牧区には五頭、舎飼区には三頭をそれぞれ供試しました。

三、試験期間

試験期間は放牧区では六四五日間で、その内訳は前期(放牧期)二二〇日間、中期二二〇日間、後期二四五日間です。また、舎飼区では前・中期は放牧区と同じですが、後期は二〇三日間の計六三三日間です。

四、飼料の給与

舎飼区は全期間と放牧区の中・後期に給与するTDN量は、日本飼養標準に對し期待増体量一・〇kgの所要TDN量としました。粗飼料と濃厚飼料の給与割合はTDN量とし、舎飼区では前期は濃厚飼料六〇%、粗飼料四〇%、中期は濃厚飼料八〇%、粗飼料二〇%、後期はそれぞれ九〇%、一〇%としました。放牧区では前期は放牧し、粗飼料は野草の自由採食とし、濃厚飼料は一日一頭当たり体重の〇・五%を給与しました。中・後期は舎飼区と同じ給与割合としました。

表1. 増体成績

項目	前期(210日)		中期(210日)		後期(舎飼区203日、放牧区245日)		通算(舎飼区623日、放牧区665日)	
	増体量	1日当り増体量	増体量	1日当り増体量	増体量	1日当り増体量	増体量	1日当り増体量
舎飼区	153.3	0.73	147.3	0.70	109.3	0.54	410.0	0.66
放牧区	42.8	0.20	169.6	0.81	174.6	0.71	387.0	0.58

表2. 飼料及び養分摂取量

項目	濃厚飼料			粗飼料(DM)			TDN			D C P		
	前期	中期	後期	前期	中期	後期	前期	中期	後期	前期	中期	後期
放牧区	249	1,921	2,031	832	840	335	666	2,037	1,673	64	258	222
舎飼区	685	1,586	1,523	980	521	272	1,036	1,436	1,258	118	187	167

表3. 飼料及び養分要求率

項目	濃厚飼料			粗飼料(DM)			TDN			D C P		
	前期	中期	後期	前期	中期	後期	前期	中期	後期	前期	中期	後期
放牧区	5.82	11.33	11.82	19.43	4.95	1.92	15.57	12.01	9.58	1.49	1.52	1.27
舎飼区	4.47	10.77	14.04	6.39	3.54	2.49	6.76	9.75	11.51	0.77	1.27	1.53

レージ、稲わら等を給与しました。

六、管理

舎飼区は一頭ごとにスタンションに繋留し、水は自由飲水とし、一日一回パッドックで二時間程度の自由運動を行ないました。放牧区は前期には約一・八haの野草地を三牧区にし、二〜三週間の輪換放牧をしました。中・後期には舎飼区と同じ管理方式としました。

試験成績

一、増体成績

増体成績は表一に示したとおりで、全期間における増体量は放牧区が三八七・〇kg、舎飼区が四一〇・〇kg、その一日当たりの増体量(以下DGと記す)はそれぞれ〇・五八kg、〇・六六kgであり、舎飼区の方が良い増体を示しました。

肥育期別の増体量及びDGをみてみますと、前期は放牧区が四二・八kg及び〇・二〇kg、舎飼区が一五三・三kg及び〇・七三kgで、放牧区は舎飼区の二七・九%の増体にとどまりました。中期の増体量は放牧区が一六九・六kg、舎飼区が一四七・三kg、DGはそれぞれ〇・八一kg及び〇・七一kgでした。後期になりますと、増体量は放牧区が一七四・八kg、舎飼区が一〇九・三kgであり、そのDGはそれぞれ〇・七一kg及び〇・五四kgで、放牧区は中期に引き続いて舎飼区を上回る増体を示しましたが、舎飼区は増体の純化が顕著にみられました。

二、飼料及び養分摂取状況

(一) 飼料及び養分摂取量

飼料及び養分摂取量は表二に示したとおりで、全期間における放牧区二頭当たりの濃厚飼料、粗飼料(DM)、TDN及びDCP摂取量はそれぞれ四二二〇一kg、二〇〇六kg、四三七六kg及び五四三kgでした。また、舎飼区はそれぞれ四〇九四kg、一七三三kg、三三三二kg及び四七二kgで、これらは放牧区の九七・五%、八八・四%、八五・三%及び八六・九%の摂取量になります。

(二) 飼料及び養分要求率

飼料及び養分要求率は表三に示したとおりで、全期間の一頭当たりの要求率は放牧区では濃厚飼料九・二kg、粗飼料(DM)五・二kg、TDN一・三kg及びDCP一・四kgでした。また、舎飼区ではそれぞれ九・三kg、四・三kg、九・一kg及び一・二kgで、濃厚飼料を除けば放牧区より低い要求率を示しました。

三、枝肉成績

枝肉成績は表四に示したとおりで、ロース芯の面積は放牧区の方が大きく、枝肉歩留、脂肪交雑状況及び皮下脂肪の厚さは舎飼区の方が良好でした。また、表には示しませんが、肉の色沢・きめ・しまりは両区ともほぼ同じでした。枝肉一kg当たりの平均単価は、放牧区が一、七八九円、舎飼区が一、九七三円であり、一頭当たりの平均枝肉販売価格はそれぞれ六四万二千円及び七四万七千

円でした。

まとめ

去勢牛の理想肥育を前提としての素牛を野草地でできるだけ長期放牧育成し、その後の仕上げにおよぼす影響について検討した結果、次のような成績が得られました。まず、増体については、放牧区は前期(放牧期)の増体がDGで〇・二〇kgと著しく低かったため、中期以降いわゆる代償性発育がみられたものの、全期間

のDGは〇・五八kgにとどまりました。これに対し、舎飼区では全期間のDGは〇・六六kgと放牧区より良い増体を示しましたが、後期に増体の純化が顕著にみられました。

次に、飼料及び養分の摂取量と要求率については、全期間では舎飼区は放牧区の八五・三〜九七・五%の摂取量になりました。要求率では前・中期は濃厚飼料、粗飼料(DM)、TDN及びDCPとも放牧区の方が高い要求率でしたが、後期は放牧区の方が低くなりました。また、枝肉については舎飼区の方がやや良い成績でした。

以上のように、理想肥育(去勢牛)を前提として肥育素牛を野草地で長期放牧育成する場合、肥育前期放牧(放牧区)の増体に問題がりましたが、舎飼いに比較して肥育後期における増体の停滞があまりみられず、飼料の効率も良いと考えられます。したがって、理想肥育(去勢牛)の素牛を肥育前期に野草地で長期放牧育成する場合、放牧頭数を見合った面積を確保するとともに、放牧地の草の生産量の向上を図るなどをして、野草地を放牧に利用すれば、素牛の育成に野草地の活用はかなり期待できるものと考えられます。

表4. 枝肉成績

項目	区別	舎飼区		放牧区	
		特選2, 極上1	特選1, 極上2, 上2	特選1, 極上2, 上2	特選2, 極上1
終了時体重	①(kg)	626.0		600.2	
屠殺時体重	②(kg)	585.0		556.2	
枝肉重量	③(kg)	380.3		358.1	
枝肉歩留	③÷①(%)	60.8		59.7	
"	③÷②(%)	65.0		64.4	
脂肪交雑状況	(+)	3.8		3.2	
ロース芯の面積	(cm ²)	53.3		56.6	
皮下脂肪の厚さ	背(mm)	2.0		2.2	
"	胸(mm)	2.4		2.5	
"	腰(mm)	1.0		1.2	
枝肉規格		特選2, 極上1		特選1, 極上2, 上2	

私の趣味

花木の培養をはじめ

岡山県普及園芸課 安東 莊 爾

花木は、年々生長して四季の姿をかえ「どれどれ春の仕度にかかりました。赤い椿が咲いたぞなもし(北原白秋)季節がくるとそれぞれ花が咲き四季を通じて色とりどりの花が咲き乱れ、その香りがただよい早春の若芽の美しい色、初夏の緑したたる新緑、秋の鮮やかな紅葉を見るときのふるさとへ帰るような暖かい鼓動を感じ懐かしさを生じます。私は、元来、蒐集癖が強いのでしょうか。小さい時には近所の古墳から出る土器の破片を無造作に集め母に叱られた思い出もあります。

矢掛や丹波地方までも足をのびし一人前の山師気分山水景石や紋様石などを採したものです。色々と集めた石を家の縁側に並べるうちに重みで雨戸の調子が悪くなり祖母からも石集めは止めてくれと言われるほどのものでした。石を収集して感じたことは、石は勉強するほどむづかしく、よほどの時間的余裕がなければ気が入ったものをするのが困難だということでした。その点、花木作りは自分の気ままに作業が何時でもできますので非常に楽です。

以来、植物の標本作りに凝ったり、蛾の採集をしたり全国の郷土玩具を集めたりしました。子供にせがまれて鉢物採集の手助けをした時も我を忘れて山や川を歩き廻りしまいには本腰になって地質図を片手にハンマーなどを持って佐治川や

最初はおみやげやみぢの培養から始めたのです。もみぢは秋の紅葉を見るものだと思っていました。色々と品種を手がけているうちに春の芽立ちの美しいものや香の強いもの、幹が荒れて古木の感じが出てくるもの等、園芸品種が多く中に

は珍しいものが数多くあって面白味が自然に湧いてまいりました。加茂町の愛好家を尋ねた時には、一本の幹に十種類ほどの変わった品種を接木し、それぞれ枝として作り楽しんでおられるのを見てとても参考になりました。

その後色彩が豊富なるめつつしを手がけ集めるうち、さつきにも手が出て培養をはじめました。もう、かれこれ15年程になるでしょうか。当初、さつきの先生から誰も花の華麗さに引かれてさつきを作り次には葉性を言うようになりしまいに木の色や模様になるようになりものだと、教えられ、なんのことかと思議にさえ思っていました。自分で求め植えては枯らし枯らしては植えるうち次第に先生が言ったことが実感としてわかって参りました。庭一杯にさつきが並び頃は、家内も物干場が無いとか、通るのに困るなど不平を言っていました。今はあきらめたのか忙がしい時には手伝いをしてくれるようになっています。

さつきの鉢作りで一番忙がしい時が丁度田植前後となりますのでこの地方では稲作の多い家では少々無理になるのではないかと思います。鉢替え時には毎年忙がしく就寝は夜中の一時から二時頃になります。到底、人に言われてすることでは出来ぬものではないと思います。梅雨あけの頃には鉢の草取で追いまくられ

鉢の中を四つんばいになって動く姿はまるで気違いざただと他の人は思われることでしょう。しかし、鉢植えの葉に朝露が光る姿を見ると苦勞がかえって喜びに変わり楽しさが湧いて参ります。

植木屋のおやじさんが、さつきを作る人はたいてい椿にも手を出すものだと言っていました。椿は開花までに暇がかかり苗木もたかいたので椿よりさつきを作ってやろうと思ひ、さつきのか系統別代表種を集めるため安行や池田や広島に行きました。三年ばかり、その気になって集めているうちにさつきか椿の区別が一緒になってしまふとうとう椿の方にも手がのびて何時とはなしに椿も集めるようになり小豆島や久留米や熊本までも肥後椿を見に行くようになってしまいました。これからも、機会があれば新潟のゆき椿や京都の五色椿の自生地を訪れたいと思っています。人間が人為的に培養する花木も、やはり自生地の育っている姿をこの目で確かめて、成育環境など充分観察することがその木の特性を知らぬことにもなりませんので私は、つとめて自生地に行くことにしています。椿は、さつき以上に品種が多く開花の中も広いので秋の始めから初夏まで楽しむことができます。しかし折角、花を咲かせるようになって一夜の寒さ、一朝の霜で変色し葉も花もあわれな姿になっているのを見ると、くや

しくて情けなくなることが度々あります。挿木ができる系統では鉢上げした翌年には、元気のよい木であれば想像以上に大きな花を咲かせることも出来ますし、若木の間にアルミ針金を使って曲付けしてやるとそこから新しい芽が出てよい樹形

書店に行けばあらゆる専門書や参考書が氾濫しています。私も色々と専門書を

求め置所に重ねて暇さえあれば見ているです。近頃は、竹と笹の勉強をしているので、四季を通じて我々を慰め、楽しませて、生活にうらおいを与えてくれる花木こそ誠に、作り甲斐のあるよいものだと思ひます。久保利夫先生の本の中に「世

の中にたえて桜のなかりせば春の心はのどけからまし」と詠じた在原業平は日本人の気持を素直に現していると思ひます。今一度、この句の心をつかんでみたいと思ひ筆を止めます。

枝肉 格付 状況 市況

2. 豚肉

7月岡山市場出荷分

格付	頭数	平均単価
極上	-	-
上	364	615
中	492	566
並	534	499
外	334	291
計	1,724	485
以上格付率	21.0%	

1. 牛肉

7月岡山市場出荷分

格付	頭数	平均単価
特選	-	-
極上	35	2,349
上	21	1,972
中	84	1,737
並	1,865	1,421
外	103	780
計	398	1,414
以上格付率	6.0%	

3. 55年7月子牛市況

市場	性	入場頭数	取引頭数	1頭当り価格			平均重	kg当り単価
				最高	最低	平均		
久世	♀	73	72	791,000	289,000	455,403	243	1,877
	又計	130	129	447,000	294,000	375,000	258	1,457
津山	♀	207	202	751,000	245,000	400,075	236	1,694
	又計	253	248	443,000	195,000	369,270	252	1,454
高粱	♀	-	-	-	-	-	-	-
	又計	460	450	-	-	383,098	245	1,558
新見	♀	102	75	579,000	266,000	410,453	243	1,682
	又計	173	168	448,000	194,000	387,203	259	1,490
県計	♀	275	243	394,379	254	1,547		
	又計	382	349	791,000	245,000	413,719	241	1,723
計	♀	556	545	448,000	194,000	376,040	256	1,466
	又計	938	894	390,749	250	1,564		

4. 55年7月子豚市況

区分	入場頭数	取引頭数	1頭当り価格		平均
			最高	最低	
計	773	773	26,700	5,200	18,687
計	773	773	26,700	5,200	18,687

オリオン ローラインミルクカー

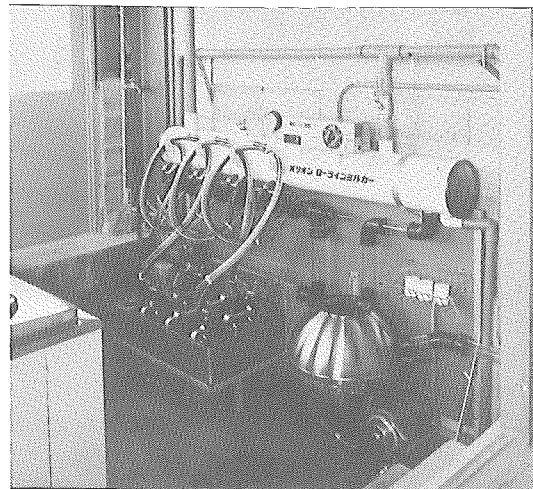
ORION

ローラインだけが成しえる低真圧搾乳

PML-51S-A型

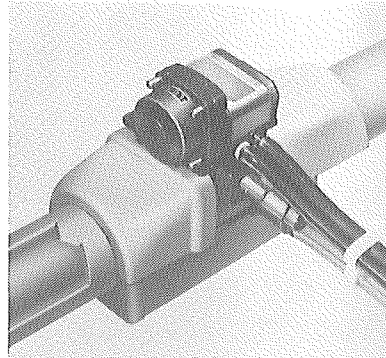
三大特長

1. 安全な搾乳真空圧 31.5cmHg
2. 安定した搾乳真空圧
3. 二重構造のワンラインパイプ方式 (特許出願中)



◀処理パネル

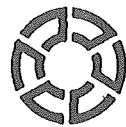
▼ミルクタップ



オリオン機械株式会社

営業本部 東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目25-5 TEL (03) 341-5811
 本社・工場 長野県須坂市大字幸高246 TEL (02624)5-1230
 岡山営業所 岡山市清輝橋3-2-8 TEL (0862)26-0136

酪農畜産機器 総合商社



株式会社

小 六

本社 岡山市福成2-14-23 (0862) 63-1221(代)
 落合営業所 真庭郡落合町上市瀬165-2 (08675) 2-3364
 金川営業所 御津郡御津町金川337 (08672) 4-0143
 津山営業所 津山市志戸部712 (08682) 2-1561

ご注文は 岡山県畜産会へ

●正しい飼料給与に日本飼養標準を

乳牛編	(600円千160円)
肉用牛編	(800円千180円)
豚編	(630円千120円)
家禽編	(450円千120円)
日本標準飼料成分表	(850円千180円)

●畜産技術・経営のめやすに畜産経営計画・設計指標シリーズのご利用を

草地型酪農経営	(1,300円千300円)
耕地型酪農経営	(1,100円千200円)
流通飼料依存型酪農経営	(1,500円千200円)
乳用去勢牛哺育・育成経営	(1,000円千200円)
乳用去勢牛肥育経営	(1,000円千200円)
肉専用牛繁殖経営	(1,000円千200円)
肉専用牛肥育経営	(1,300円千200円)
養豚繁殖専門経営	(1,000円千200円)
養豚肥育専門経営	(1,300円千200円)
養豚一貫経営	(1,500円千200円)
養鶏採卵専門経営	(1,000円千200円)
養鶏育成専門・採卵一貫経営	(1,600円千200円)
養鶏ブロイラー経営	(1,300円千200円)

●畜舎シリーズ (設計図つき)

乳用牛舎 (50頭規模)	1,500円千200円
肉用牛舎 (150頭規模)	1,300円千160円
鶏舎 (2万羽規模採卵および20万羽出荷ウインドレス肉用鶏舎)	1,500円千200円
豚舎 (100頭規模)	1,700円千240円

●家畜排せつ物の処理・利用の手引き (1,000円千200円)

《最新刊》

- 粗飼料生産の新技术
 - 飯田克美著 (1,300円千160円)
- 養豚の経営管理 (1,200円千160円)
- 家畜害虫 (2,000円千200円)
- 畜産における土地利用の展開 (1,200円千160円)
- 昭和55年 畜産経営の動向 (2,500円千200円)
- 効率的な養豚技術 (1,300円千200円)

岡山県畜産会 : 700 岡山市磨屋町9-18 農業会館内 TEL 0862-22-8575

岡山畜産便り (八月号)
 第三巻 第七号 (通巻第三一九号)
 昭和五十五年八月二十五日
 発行人 花尾省治
 編集人 竹原宏治
 発行所 岡山市磨屋町九一八
 岡山県農業会館内
 岡山県畜産会
 電話・岡山 228575番
 振替・岡山 八五七五番
 岡山市丸の内二一一一
 ふじや高速印刷所
 電話・岡山 224951番
 一部一八〇円(送料共)

前線が日本の南岸に停滞し、まるで梅雨のような日が続いております。今年にはエアークンディショナーの売り上げも伸びず、清涼飲料水の売り上げも例年とおりとはいかなかったようです。夏の甲子園でも、連日、熱闘をくり返しているグラウンドとは別に、スタンドでは名物のカチワリも売れ行きはさっぱりだとか。それを思うにつけ、心配なのは牛乳の夏場の消費の伸び具合です。冷夏とはいえ、まだまだ暑い日が続きます。皆さん、牛乳を飲みましょう。

あとがき